Hanoi International School

保護者のためのハンドブック
HIS中等部

2026 – 2027

目次

連絡先 3

中等部の校長からのメッセージ 4

HISの理念声明

ミッションとビジョン 5

コアバリュー 6

質の高い教育と学び 7

国際バカロレア（IB）プログラムの学習者像 8

グローバル市民としての資質と異文化学習 9

第1章: 中等部の概要

1.1 カリキュラムの概要 10

1.2公式報告 11

1.3中等部の教職員チーム 12

第2章: カリキュラムとサービス

2.1中等部のカリキュラム 16

2.2 HIS 卒業証書 18

2.3生徒支援 21

2.4キャリア教育および大学進学ガイダンス 23

2.5内部試験および外部試験 24

2.6賞 24

2.7生徒の健康 25

2.8 体育と健康教育（PHE） 26

2.9 ハウス制度 26

2.10 課外活動プログラム（CCP） 27

2.11見学旅行 27

2.12 MRISA 及び HAC 28

2.13宿題と学習約束 29

2.14図書館 29

2.15食堂 30
2.16送迎手段 30
2.17緊急時対応手順 30
第3章: 生徒に対する期待
3.1授業日 31
3.2学年度 31
3.3出席 32
3.4生徒が校内を離れること 32
3.5遅刻 32
3.6服装 32
3.7デバイスの使用 34
3.8デバイスの使用 34
3.9生徒の行動規範 36
3.10学術的な誠実 40
3.11覚醒剤およびアルコール製品 43
3.12 ガム 44
3.13外部からの食べ物の注文 44
3.14生徒主催のイベント 44
3.15セキュリティ、ロッカー、および忘れ物 44
3.16バイクの安全運転 45
第4章: 保護者と学校の連携
4.1保護者と学校のコミュニケーション 46
4.2個人情報の変更 47
4.3一般的な問題 47
4.4保護者からの苦情手順 47
4.5保護者会（PTA） 47
4.6校内への出入り 48

連絡先



Bradley Ringrose
学校長（全校）
bringrose@hisvietnam.com



Clare Gibbings
中等部校長
cgibbings@hisvietnam.com



Michael Kent
IB中等部の副校長兼 コーディネーター
mkent@hisvietnam.com



John Robertson
IB中等部副校長兼 コーディネーター
jrobertson@hisvietnam.com

ハノイ・インターナショナル・スクール

ベトナム、ハノイ、バディン、コンヴイ、リエウザイ通り、48 番
(84 24) 3832 8140 – 3832 7379
(84 24) 37624184
www.hisvietnam.com
mainoffice@his vietnam.com

中等部校長からのメッセージ

保護者の皆様へ



ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）中学校部へようこそ。本年度は、HIS創立30周年という節目の年を迎える、学校全体にとって特別な意味を持つ一年となります。お子様の教育の歩みにおいて、保護者の皆様とともに歩ませていただけることを、学校一同大変光栄に感じております。中学校段階において学生がさらに成長していく中で、HISが大切にしてきた特徴である、高い水準の教育、互いを尊重し受け入れるインクルーシブな学習環境、そして強いコミュニティ意識を育む環境を、これからも提供し続けてまいります。

本年度、中学校部では、期待されるさまざまな変化と発展があります。全校図書館マネージャーおよびMYP・DPプログラム専任の音楽教師を含む、新たな役職に就くスタッフを迎え入れることを大変嬉しく思います。これらの新しい役割の設置により、学生にとって、より多くの学びと成長の機会が提供されるものと確信しています。スポーツ分野においては、学生がMRISA活動に積極的かつ大いに参加することを期待しています。10月末には、本校はUNIS　Hanoiと協力し、MRISA中学校バレーボール大会の開催校を務める予定です。また、タイ、カンボジア、ラオスで開催される国際大会に向けて、各代表チームの準備も積極的に進めています。

さらに、本校は、厳格で質の高い学習環境を継続して提供し、HISが長年築いてきた教育の質における伝統をさらに発展させていくことを大変誇りに思っています。昨年度に実施されたIBおよびCISの再認定審査における成功を受け、本校は、これまで培ってきた強みをさらに伸ばし、審査において高く評価された成果を継続的に発展させてまいります。認定報告書でも評価されたように、本校では少人数制のクラス規模を維持することで、一人ひとりの学生に十分な関心を寄せ、それぞれを深く理解できる環境を整えています。その結果、私たちは各学生を支援し、励まし、成長の歩みに寄り添いながらサポートすることができます。本校は、すべての学生が学校とのつながりを実感し、学習面で成功を収めるだけでなく、これから直面するさまざまな機会を生かし、困難を乗り越えていくために必要な知識と力を身につけることが大切であると考えています。

本ハンドブックでは、中学校部で行われるさまざまな活動に関する重要な情報をご確認いただけます。特に、キャンプ活動、服装規定、ならびに学生行動規範における表現の一部変更に関する最新情報が掲載されていますので、ご確認ください。ご不明な点やご質問がございましたら、どうぞ遠慮なく担任教師、学校のリーダーシップチーム、または各教科担当教師までお問い合わせください。教職員一同、保護者の皆様を喜んでサポートさせていただきます。

私たちは、教育が最も大きな成果を生み出すためには、家庭と学校が緊密に連携することが不可欠であると考えています。お子様の学びと成長の場としてHISをお選びいただき、本校に寄せてくださっている保護者の皆様の信頼に、心より感謝申し上げます。本年度を通して、保護者の皆様には学校活動にご参加いただける多くの機会をご用意しております。この機会をお借りして、年度初めに開催される重要な行事である**「新年度保護者会」**へ皆様をご招待申し上げます。この会は、新年度の始まりに保護者の皆様を対象として開催される大切なイベントです。本年度は、8月27日に開催予定です。

皆様とともに、実り多く素晴らしい一年を迎えられることを心より楽しみにしております。

敬具

Clare Gibbings

Clare Gibbings

中等部校長

HISのビジョン、ミッション及びコアバリュー

ビジョンとミッションの声明





HISのミッションは、国際バカロレア機構（IBO）のミッションと深く結びついています。具体的には次の通りです。

IBOの目的は、探究心に富み、知識を備え、思いやりのある若者を育成することであり、文化的な理解と相互尊重を通じて、より良く、平和で持続可能な世界の構築に貢献することです。この目標のもと、IB機構は各国政府や国際機関と連携し、厳格な評価基準を備えた高度な国際教育プログラムを開発しています。これらのプログラムは、世界中の生徒が、主体的に行動し、思いやりにあふれ、生涯にわたり学び続ける力を持つ人間へと成長することを奨励しています。生徒たちは、人と人との違いを尊重すべき価値あるものとして認識するようになります（IBO, 2025）。

HISのコアバリュー

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）のコアバリューは、すべての行動の指針となる共通の基盤であり、前向きな学習コミュニティの構築を支えるとともに、責任感を持ち、尊重と溢れる仁愛の心を備えたグローバル市民の育成を支援します。



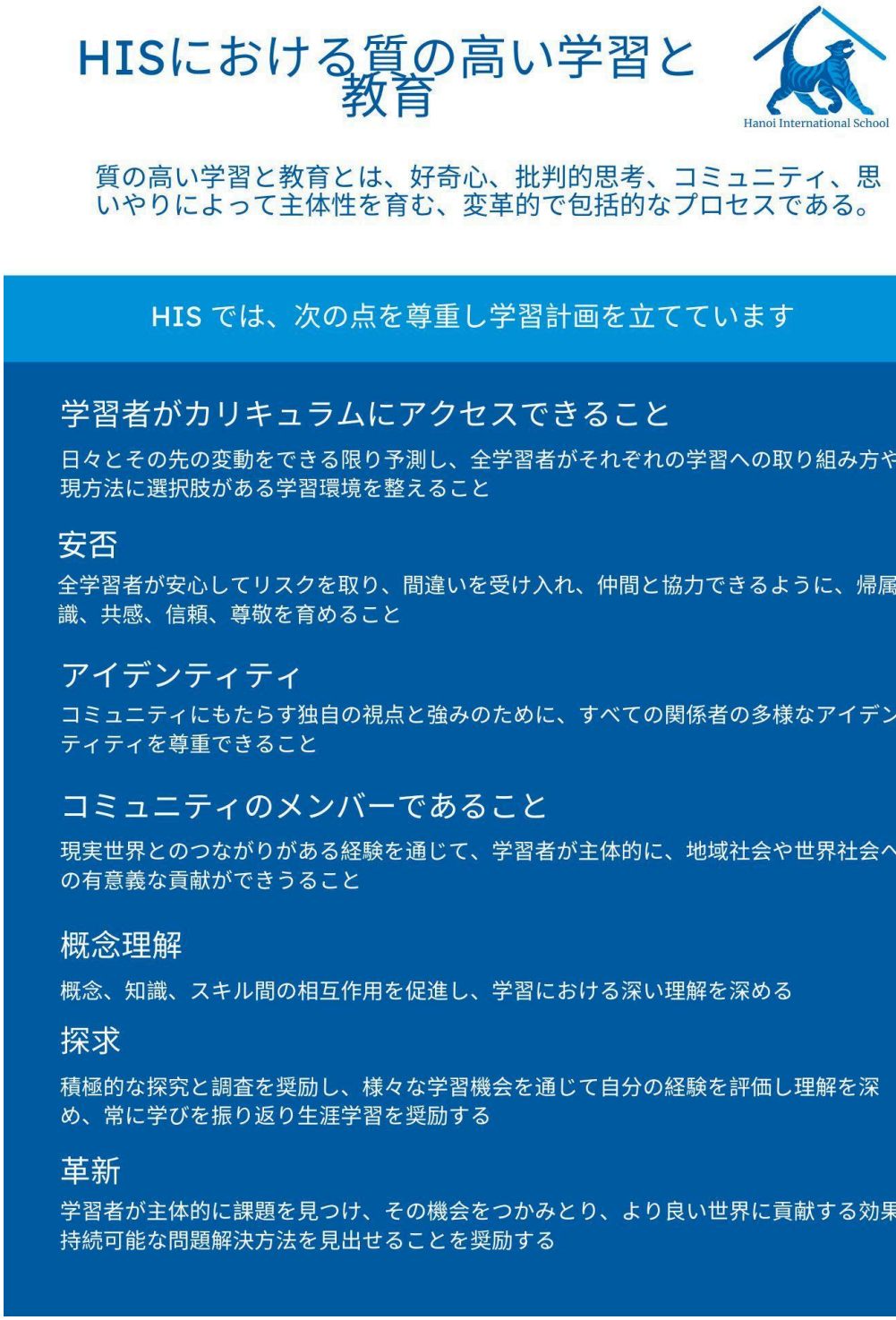
HISのバリュー

学習者コミュニティにおける多様性を尊重し、称えること。
開催国とその文化への理解と敬意を育むこと。
教育と具体的な行動を通じて、より良い世界の実現に貢献すること。
生涯学習者に対して、バランスの取れた成長を促す多くの機会を提供すること。
国際的な視野を持ち、IB学習者像に示される資質を実践しようと日々努める市民を育成すること。

質の高い教育・学習（HQLT）

質の高い教育・学習に関する声明は、効果的な学習・指導環境を築くための重要な原則を示しています。この声明は、理想的な学習体験を描き出し、教員が生徒を支援し、インスピレーションを与え、かつ適切な挑戦を提供する環境を設計するための指針となります。これにより、生徒一人ひとりが最大限にその可能性を発揮できるようにします。

ハノイ・インターナショナル・スクールでは、この声明が教育方針を明確に示すとともに、教職員の教育へのコミットメントを表しています。



B学習者像

すべてのIBプログラムの共通の目的は、国際的な視野を持ち、人類の価値を尊重し、地球を守るという共通の責任を深く自覚する人間を育成することです。これにより、より良く、平和な世界の実現に貢献することを目指しています。



グローバル市民としての資質と異文化学習

グローバル市民としての資質と異文化学習は、教育において欠かせない要素であり、多様性に満ちた相互につながる世界において、インサイトと尊重をもって関わっていくための準備を生徒に提供します。こうしたバリューは、生徒の意識や共感力を高め、文化的な違いを理解し乗り越える力を育むとともに、グローバルな課題に協力して取り組むためのスキルを養います。

この声明は、グローバル市民精神の育養と異文化学習の乗り越えに対する、ハノイ・インターナショナル・スクールの信念と願いを表しています。

ハノイ・インターナショナル・スクールでのグローバルな人材と異文化学習

Hanoi International School

ハノイ・インターナショナル・スクールにおけるグローバルな人材とは、私たちが様々な地域社会や世界規模のコミュニティに属し、それらに有意義な貢献をする責任があることを認識する人々のことを意味します。私たちのコミュニティにおける異文化理解とは、多様な文化やアイデンティティを尊重し、異なる視点や経験を尊重する空間を創造し、育む役割を受け入れることを意味します。

第1章：中等部の概要

1.1カリキュラムの概要

HISでは、中学校は学問的に真剣でありながら、生徒一人ひとりに対する関心をもって、好奇心を引き出し、コミュニティの結束を促進する学習環境を提供しています。私たちのカリキュラムは、探究心の育成、自己評価のスキル、そして生涯学習のスキルを身につけることに重点を置いています。生徒たちは自分自身を表現する勇気を持ち、批判的思考を養い、積極的に学びに参加し、学校とより広い社会とつながりを持つことが奨励されています。

6年生から10年生までは、国際バカロレア（IB）中等教育プログラム（MYP）を学びます。11年生と12年生では、IBのディプロマプログラム（DP）を学び続けます。

12年生の終わりには、プログラムの要件をすべて満たした生徒に対して、HIS高等学校卒業証書が授与されます。この卒業証書は、世界中の大学で認められた資格です。その上、多くの生徒はIBプログラムを全うしています。IBプログラムは、世界で最も厳格で権威ある大学準備プログラムの一つとされており、生徒に学業成功を達成するための十分な準備を提供するだけでなく、学校を卒業した後の人生においても役立つスキルを身につけることができます。多くの国際的な調査によると、IBプログラムを修了した生徒は、トップ大学に進学する可能性が高く、学業成績や批判的思考、自己管理能力、グローバルな視野などの包括的なスキルにおいて、同年代の仲間と比べて優れた成果を上げる傾向にあります（国際バカロレア機構 – IBO）。

クラスの人数が少ないため、教師は生徒一人ひとりをより深く理解し、それぞれに適した指導やフィードバックを提供することができます。学習は柔軟に設計されており、さまざまなニーズに対応しながら、生徒は授業外でも積極的にサポートを求めたり、知識を広げたりすることが奨励されています。生徒と教師の間で開かれたコミュニケーション文化は、HISの学校生活における特徴的な側面です。

HISの授業言語は英語です。効果的にカリキュラムにアクセスするためには、生徒は最低限の英語力を持っている必要があります。場合によっては、英語スキルを向上させている生徒を受け入れることもありますが、9年生以上になると、英語力が流暢であることが期待されています。私たちは多言語の価値と文化の多様性を重視している学校として、すべての生徒が少なくとも二言語を習得できるよう支援しています。また、ベトナムというホスト国の文化を称賛し、重視することにも特に力を入れています。

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）は、WIDAシステムに属する学校の一つです。WIDAは、英語学習者（ELL）のための言語発達基準、評価ツール、教育支援資料を提供する教育機関です。この組織の目的は、学校や教員が多言語話者の言語力向上と学業達成の支援を行えるようサポートすることにあります。WIDA学校として、HISは英語を補助的に学習する生徒（英語学習者）に対して、WIDAのカリキュラム枠組みを活用しています。これには、研究に基づいた言語発達基準、適切な評価ツール、そして効果的な指導戦略の導入が含まれており、生徒が英語力を伸ばしながら、学習内容を十分に理解・吸収できるよう支援します。WIDAシステムに属する学校では、公平性（エクイティ）を重視し、教師間の協働を奨励するとともに、言語を学びの中核要素として捉えています。これにより、すべての生徒が学業面および社会面の両方で成功するために必要なサポートを受けられるよう取り組んでいます。

HISでは、英語、ベトナム語、韓国語、または日本語を母国語またはほぼネイティブとして使用する生徒向けに、言語と文学のコースを提供しています。新しく言語学習を始めた生徒や言語の基礎を築いている生徒には、フランス語と英語の補習クラスを設けています。もしご家庭がお子様に他の言語を学ばせたい場合、家庭教師のサポートを受けながら、授業時間内に調整できるよう努力いたします。

学校のハノイ中心部に位置するキャンパスは、教室外での実践的な学びの機会を多く提供します。毎年、生徒たちは学習プログラムの中で欠かせない活動である「実地研修週間（Camp Week）」に参加し、ベトナムの歴史、地理、文化を探求するための見学旅行を行います。

1.2公式報告

IBプログラムの生徒は、10月と4月に四半期ごとの報告書を受け取り、12月と6月に学期報告書を受け取ります。12年生の生徒には、4月に最終報告書が配布され、6月には報告書はありません。

6年生から10年生の生徒には、学期報告書に各教科の教師による成績と担任教師からのコメントが含まれます。これらの報告書は、学業の成果を反映する公式な文書であり、成績は最終的な成績表に集計されます。

9年生から12年生の生徒にとって、学期の成績はHIS卒業証書の取得を判断する重要な要素であり、大学の入学選考にも大きな影響を与えます。DP生徒の学期報告書は最終的な成績であり、MYP生徒の報告書は学年末までの進捗報告書として扱われます。

教材（MRISAの制服や図書館の本など）を返却していない生徒は、全て返却するまで成績報告書を受け取ることができません。報告書を受け取った後、保護者は1週間以内に疑問があればフィードバックを行うことができます。この期間を過ぎると、報告書の修正や追加はできません。

定期的な報告書やコミュニケーションに加え、保護者には、お子様の担任教師や教科担当教師といつでも積極的に連絡を取ることをお勧めします。最も便利な連絡方法は通常、メールですが、保護者は学校の事務局に連絡して教師との面談を調整することもできます。

このガイドブックの第4部を参照して、保護者と学校との連絡方法の詳細をご確認ください。

評価の点数

中学校プログラム（MYP）

MYPプログラムの各科目では、生徒は4つの基準（A、B、C、D）に基づいて評価されます。各基準の得点は8点満点で評価されます。各評価の結果は、ManageBacシステムに登録されます。

学期報告書では、各基準の点数が明確に表示され、32点満点のスコアに合計されます。その後、32点満点のスコアは各科目の最終得点として7点満点に変換されます。

ディプロマプログラム（DP）

DPプログラム（11〜12年生）の学業成績は、IBの1から7までのスケールで評価され、7が最高点です。各評価の結果は、ManageBacシステムに登録されます。

DP生徒は、すべての科目の成果を合計して総得点を算出できます。最終的な結果が発表される際には、創造性、活動、奉仕、拡張エッセイ、認識論的理論の科目に対して最大3点のボーナスポイントが加算されることがあります。IBの卒業証書を完全に取得するためには、生徒はこれらのコア要求をすべて完了する必要があります。

学習進捗のフォローアップ

MYP（6～10年生）およびDP（11～12年生）のプログラムコーディネーターと中学校校長は、生徒の学業進捗を密接に監視します。9〜12年生の生徒については、HIS卒業証書取得のために必要な要件の達成状況が細心にチェックされます。問題が発生した場合、担当のコーディネーターは生徒と保護者に積極的に連絡を取り、会議を設定してサポートし、一緒に解決策を見つけるよう努めます。

1.3中等部の教職員チーム

組織運営体制

ハノイ・インターナショナル・スクール（HIS）では、校長が学校全体の最高責任者として、組織運営、戦略的計画、および学校全体の発展を指揮し、すべての生徒に質の高い教育体験を提供する責任を担っています。校長の指導もと、初等部校長および中等部校長が各学部の日常運営を統括しています。彼らの役割には、教員チームのリーダーシップ、教員の専門能力開発の支援、そして学校の方針の確実な実施が含まれます。また、各学部校長は、生徒の生活指導、規律対応、当番スケジュールの調整、代替教員の手配など、生徒管理に関する業務も担当しています。この管理チームを支えるのが、初等部および中等部の教務主任です。彼らは、カリキュラムの設計と改善をリードし、学校全体で効果的な指導法が実践されるよう教育の質の向上に取り組んでいます。

教職員チーム

HISでは、すべての中学校の教師が優れた専門知識と豊富な国際教育経験を持ち、生徒に高い教育の質を提供しています。私たちの外国人教師は、オーストラリア、インドネシア、フィリピン、カナダ、インド、韓国、日本、マレーシア、アメリカ合衆国、イギリスなど、さまざまな国と文化から来ており、この多様性が、生徒にとって多角的な視点を得られる魅力的な学習環境を作り出しています

さらに、学校には豊富な経験を持つベトナム人スタッフも在籍しており、その多くは長年にわたって学校に貢献しており、貴重な知識と安定性を提供しています。全スタッフが熱心でエネルギッシュに国際教育の原則に従い、オープンで相互支援の精神を持った学習環境を築いています。

また、学校は理想的な生徒と教師の比率を維持しており、教師は個々の生徒に細やかに関心を払い、適切な指導法を調整し、強い信頼関係を築きながら、生徒が学業と生活スキルの両方で総合的に成長できるよう支援しています。

中等部の教職員チーム

教師	科目	責任
Clare Gibbings cgibbings@hisvietnam.com		**Secondary Principal**
Mike Kent mkent@hisvietnam.com	DP Psychology; DP Global Politics	**Assistant Principal & Diploma Programme (DP) Coordinator**
John Robertson jrobertson@hisvietnam.com	MYP English Language Acquisition; MYP Design; Personal Project	**Assistant Principal & Middle Years Programme (MYP) Coordinator**
Alberto Garcia agarcia@hisvietnam.com	MYP Physical and Health Education	**Athletics Director**
Ari Trisnadi atrisnadi@hisvietnam.com	MYP English Language and Literature	**University Guidance Counsellor**
Peter Jacobson pjacobson@hisvietnam.com		**Whole School Librarian**
Fabiola Shaw fshaw@hisvietnam.com		**Whole School Social Emotional Counsellor**
Sabrina Hartmann shartmann@hisvietnam.com	DP Advisory; Grade 6 Transitions	**Whole School Learning Support Facilitator**
Gary Towers gtowers@hisvietnam.com	MYP Physical and Health Education	**Head of Physical Health and Education Department**
Azusa Sawada asawada@hisvietnam.com	MYP and DP Japanese Language and Literature; MYP Social Emotional Learning	**High School Community & Well-being Coordinator**
Jacob Evans jevans@hisvietnam.com	MYP and DP Visual Arts;	**Creativity, Action and Service (CAS) Coordinator**
Leigh Pritchard lpritchard@hisvietnam.com	*PYP Arts Atelier Teacher*	**Middle School Community & Well-being Coordinator**
Sally Monteith smontheith@hisvietnam.com	MYP and DP Music	**Head of Arts Department**
Michael Clifford mclifford@hsvietnam.com	MYP Design and DP Design Technology	

Leigh Redemer lredemer@hisvietnam.com	MYP and DP English Language and Literature	**Head of Language and Literature Department**
Allison Jacobson ajacobson@hisvietnam.com	MYP English Language and Literature; MYP English Language Acquisition	
Hyunsoo An han@hisvietnam.com	MYP and DP Korean Language and Literature	
Youngjoo Ahn yahn1@hisvietnam.com	MYP Korean Language and Literature; MYP Individuals & Societies	
Vũ Thị Thu **Hường** huongvtt@hisvietnam.com	MYP and DP Vietnamese Language and Literature	
Lê Thị **Lan Anh** anhltl@hisvietnam.com	MYP Vietnamese Language and Literature	
Trần Thị Thu **Trang** trangttt@hisvietnam.com	MYP Vietnamese Language and Literature	
Hiromitsu Yoon hyoon@hisvietnam.com	MYP Japanese Language and Literature; MYP English Language Acquisition; DP Theory of Knowledge	
Ruby Minay rminay@hisvietnam.com	MYP & DP English Language Acquisition	
Marie Kent mjkent@hisvietnam.com	MYP & DP French Language Acquisition and DP Theory of Knowledge	
Đỗ Thị Hồng **Hạnh** hanhdth@hisvietnam.com	MYP French Language Acquisition and DP French ab-initio	
Hiranmoy Gupta hgupta@hisvietnam.com	MYP & DP Mathematics	**Head of Mathematics Department**
Adrian Lim alim@hisvietnam.com	MYP & DP Mathematics; MYP Social Emotional Learning	**Service as Action Coordinator; Instructional Mentor**
Alessandro Masi amasi@hisvietnam.com	MYP & DP Mathematics	

Nguyễn Hải **Tuấn** htnguyen@hisvietnam.com	MYP & DP Mathematics	
Chad Taylor cotaylor@hisvietnam.com	MYP Individuals & Societies; DP Environmental Systems & Societies	**Head of Individuals & Societies Department**
Rahul Menon rmenon@hisvietnam.com	MYP Individuals & Societies; DP Economics	
Brandon Bewza bbewza@hisvietnam.com	MYP Individuals & Societies; DP Business Management	**Instructional Mentor**
Alex Morrell amorrell@hisvietnam.com	MYP Sciences; DP Chemistry	**Head of Sciences Department;** **Instructional Mentor**
Marco Lanzano mlanzano@hisvietnam.com	MYP Sciences; DP Physics	
Rashi Garg rgarg@hisvietnam.com	MYP Sciences; DP Biology	

第2章: カリキュラムとサービス

2.1中等部のカリキュラム

HISの中学校のカリキュラムは、学問的に高い要求を持ちながらも、生徒が知的、社会的、感情的に成長するための支援を提供します。国際バカロレア（IB）プログラムの枠組みに基づき、私たちのカリキュラムは、広範でバランスの取れた国際的な視点を提供します。このプログラムは、研究と概念の探求、そして実生活への応用を促進し、生徒がグローバルな文脈で成功するために必要な知識とスキルを習得できるようにします。私たちの生徒は世界中から来ているため、私たちは個々のニーズに応じた柔軟で一貫したカリキュラムを提供することを目指しています。

B中等校プログラム（MYP）

MYPは、学習と現実世界との関連性を築くことを促す挑戦的なアイデアの枠組みです。このIBプログラムの段階は、探求を中心に進められます。生徒は、広範な研究と多様な体験を通じて、自分の情熱を探求し、DPに進む際に専門分野を発展させるための関心を見つけます。このプログラムは5年間（6年生から10年生）にわたり、主に学際的な学びと生徒の研究に焦点を当て、生徒が創造的で批判的、そして反省的な思考者となるようサポートします。

HISでは、MYPプログラムではさまざまな科目が提供されています：

<table>
<tr><td></td><td colspan="3">中等教育プログラム（MYP）</td></tr>
<tr><td></td><td>6年生、7年生、8年生</td><td>9年生</td><td>10年生</td></tr>
<tr><td>永劫</td><td colspan="3">英語言語と文学
または
補助英語</td></tr>
<tr><td>第二言語コース</td><td colspan="3">以下の科目のいずれか1つ
韓国語・韓国文学（韓国語A）
ベトナム語・ベトナム文学（ベトナム語A）
日本語・日本語文学（日本語A）
第二言語としてのフランス語（フランス語B）</td></tr>
<tr><td>人文科学</td><td colspan="3">個人と社会（I&S）</td></tr>
<tr><td>科学</td><td>統合科学</td><td colspan="2">総合科学:
生物学、化学、物理学の代替科目</td></tr>
<tr><td>数学</td><td>数学</td><td colspan="2">標準および上級数学</td></tr>
<tr><td>美術</td><td>学期ローテーション：
音楽、演劇、視覚芸術</td><td colspan="2" rowspan="2">音楽、演劇、視覚芸術、または設計</td></tr>
<tr><td>設計</td><td>設計</td></tr>
<tr><td>身体健康教育</td><td colspan="3">Giáo dục thể chất và sức khỏe</td></tr>
</table>

MYPのカリキュラムと科目は、生徒が私たちのカウンセリングプログラムで体験するサポートと発展によって補完されています。HISのカウンセリングプログラムの詳細については、ガイドブックの次のセクションをご覧ください。

IBディプロマプログラム（DP)

HISの11年生および12年生で提供されるすべてのコースは、国際バカロレア（IB）ディプロマプログラム（IBDP）の一部です。IBDPは、学問の深さ、個人の成長、そして国際的な視野を奨励する2年間の学習プログラムです。生徒は、6科目を選択することによって個別の学習計画を立てます（高レベルの3科目と標準レベルの3科目）。これにより、学習過程で幅広さと専門性が確保されます。

専門科目に加えて、IBディプロマプログラムを修了する生徒は、以下の3つの重要な部分を完了する必要があります：拡張論文（独立した4,000語の研究論文）、理論的認識のコース（知識の構築方法に関する哲学を学ぶ）、そして創造、活動、サービス（CAS）プログラム。このCASプログラムは、学外でのバランスとつながりを促進します。HISでは、すべての生徒がCASに参加し、IBディプロマプログラムを完全に履修しない生徒は、ディプロマコーディネーターと相談した後、拡張論文と理論的認識のコースを選択して完了することができます。

HISは、IBディプロマプログラムにおいて強固な実績を持ち、15年以上にわたり生徒の学業成績が世界平均を超えています。IBDPプログラムは、世界中の多くの大学で認められており、生徒は自分の結果に基づいて、学位の前進や大学の単位を取得する資格を得ることができます。

2025-2026学年度に提供されるDPコースは以下の通りです：

１年生	日本語文学と語学（HL/SL)	3年生	4年生	5年生	6年生
英語文学と語学（HL/SL)	日本語文学と語学（HL/SL)	経済学（HL/SL)	生物学（HL/SL)	数学：応用と解釈（SLのみ）	画像芸術（HL/SL)
英語B（HL/SL)	韓国語文学と語学（HL/SL)	心理学 (HL/SL)	体育（HL/SL)	自学文学プログラム（SLのみ）	ビジネスとマネジメント（HL/SL)
	ベトナム語文学と語学 (HL/SL)	デザイン（SLのみ	環境と社会システム（SL/HL)		化学（HL/SL)
	Tフランス語 B (HL/SL)	演劇研究 (HL/SL)			国際政治 (SLのみ)
	フランス語の初級 (SLのみ)				
	自習文学プログラム (SLのみ)				

IBディプロマプログラムと選択できる組み合わせプログラムに関する詳細情報については、DPコーディネーターにお問い合わせください。生徒は、DPコーディネーターと大学アドバイザーの意見を参考にしながら、10年生の後半に科目を選択します。9年生および10年生の学業成績とスキルの発展は、これらの選択に影響を与えます。科目選択に関する変更を希望する場合は、必ずDPプログラム担当教師と相談してください。担当教師が変更手続きについて具体的にご案内し、変更を承認するかどうかについて最終的な判断を行います。なお、11年生の第1学期終了後に提出された科目変更の申請については、原則として承認されないことがありますので、ご留意ください。

DPプログラムのカリキュラムと科目は、生徒が私たちのカウンセリングプログラムで体験するサポートと発展によって補完されています。HISのカウンセリングプログラムの詳細については、ガイドブックの次のセクションをご覧ください。

2.2 HIS 卒業証書

HISのバディプロマ プログラムの卒業証書

- HIS のディプロマ プログラム卒業証書は、卒業時に授与され、HIS の高等学校プログラムを修了したことが認められます。
- HIS のディプロマ プログラム卒業証書は、IB 卒業証書または IB 認定証の追加資格です。
- HIS 卒業証書を取得するには、高校の 4 年間で最低 24 単位を取得する必要があります。
- 以下のすべての要件を満たさない場合、HIS 卒業が認められないことがあります。

年生と10年生の要件

- 9年生と10年生では、単位は第2学期の報告書に基づき、各科目につき毎年 1.0 単位が与えられます。
- 生徒は第2学期の期末評価で 3 点以上を取得した場合に、各科目の単位を取得します。
- 期末評価が 3 点未満の場合、その科目の単位はその年にカウントされません。
- 任意の科目で 1 点または 2 点を取得した場合、単位は再取得可能であり、具体的なケースに応じて中学校の校長の判断により決定されます。
- 単位を回復する手段としては、追加課題の完了やオンラインコースの修了などが含まれますが、これに限りません。
- 生徒は、2年間で最低 90% の出席を求められます。
- 出席率が 90% 未満の場合、上記の科目要件を満たしていても、単位が自動的に認められない可能性があります。
- 生徒は、コミュニティ活動（SA）の要件を満たし、個人プロジェクト（PP）に参加しなければなりません。
- 生徒は、9年生の SA で 0.5 単位、10年生の SA で 0.5 単位を、ManageBac 上で「順調」または「優秀」の評価を得た場合に取得します。
- 生徒は、10年生の PP で 3 点以上の評価を得た場合、IB の評価スケールに基づき 1.0 単位を取得します。

11年生および12年生の要件

- 11年生および12年生では、単位は学期ごとの報告書に基づき、各科目について毎学期　0.5 単位が与えられます。
- どの学期の報告書でも、期末評価が 3 点未満の場合、その科目の単位はその学期にカウントされません。
- 任意の科目で 1 点または 2 点を取得した場合、単位は再取得可能であり、具体的なケースに応じて中学校の校長の判断により決定されます。
- 単位を回復する手段としては、追加課題の完了やオンラインコースの修了などが含まれますが、これに限りません。
- 生徒は、2年間の各コースで最低 90% の出席を求められます。
- 出席率が 90% 未満の場合、3 点以上の評価を得ていても、自動的に単位が認められない可能性があります。
- 12年生の第2学期の報告書により、IB　卒業証書を受け取る資格がある生徒は、必要な単位数を満たしていなくても HIS 卒業証書を受け取る資格がある場合があります。この決定は校長が行います。
- IB　ディプロマ　プログラムに完全に参加していない生徒は、11年生および12年生で最低 4 科目を履修する必要があります（言語、ヒューマン・インティティーズ、科学、数学を履修することを推奨）。

注意: ヒューマン・インティティーズまたはサイエンスの科目は、美術に変更可能です。

- 生徒は、**創造、活動、奉仕 (CAS)** プログラムを修了し、**認識論 (ToK)** コースまたは代替コース（中学校校長の判断により）に参加する必要があります。
- 生徒は、**11年生**で 0.5 単位の CAS を取得し、**12年生**で 0.5 単位の CAS を取得することができます。これは、学期の終了時に ManageBac 上で「順調」または「優秀」と評価された場合、及びその評価が学期末報告書に記載されることを意味します。
- 生徒は、**11年生**で 0.5 単位の ToK を取得し、**12年生**で 0.5 単位の ToK を取得することができます。これは、学期の終了時に ManageBac 上で「良好」または「優秀」と評価された場合、及びその評価が学期末報告書に記載されることを意味します。

単位配分

	9年生	10年生	11年生	12年生	最低要件
英語	1	1	1	1	3
言語	1	1	1	1	3
数学	1	1	1	1	3
科学	1	1	1	1	3
従業者	1	1	1	1	3
選択科目	1	1	1	1	3
健康教育と体育	1	1			2
コミュニティのため活動	0,5	0,5			1
個人プロジェクト		1			1
創造、活動、サービス			0,5	0,5	1
認知理論			0,5	0,5	1
				トータル	**24**

**

場合によっては、ToK（認識論理論）は他のコースに置き換えることができます（中等部校長の決定による）。.

単位の移行

- HISは、前の学校で修了したコースに対して、9年生および10年生の生徒に最大8単位を付与します。
- 12年生でHISに転校する場合、11年生の単位は前の学校の最終報告書に基づいて適用されます。
- 中学校長は、前の学校で要件が満たせなかった場合、HISの卒業要件の一部を免除することができます

HIS卒業証書取得のための学業進捗

- 単位は9年生と10年生の第2学期終了時に付与され、11年生と12年生は各学期ごとに単位が付与されます。
- 学業進捗は9年生から12年生まで追跡され、すべての生徒がHIS卒業証書取得のために成功する能力を持っていることを確認します。
- 必要に応じて、生徒とその家族は、卒業要件を満たすための最低基準を達成する能力についての相談とサポートを受けます。

- 毎年、校長は学術委員会を招集し、12年生の生徒が達成した単位数と満たした要件を確認します。校長（または指定された者）は次のことを行います：:

    - 12年生の最初の学期終了時に、生徒がHIS卒業証書を取得するための要件を満たせないリスクがあることを生徒とその家族に通知する；

    - 5月1日までに、最低必要な要件を満たしていない生徒に書面で通知する。

  さらに、高校の校長（または指名された者）は以下を行うことができます：

    - HIS卒業証書の授与に関する特定の条件を付ける。この場合、生徒とその家族には書面で通

    - 卒業証書の授与に関する特定の条件を付ける。この場合、生徒とその家族には書面で通知されます；

- 特別な状況において、学校は高校の校長の判断により、いくつかの要件を免除する権利を有します。

2.3生徒支援

HISでは、私たちはすべての生徒のニーズに合わせたサポートを提供することを約束します。私たちの専門チームは、HISでの学びの期間中に生徒が個人的、社会的、学業的な困難を解決するのを支援します。私たちは、困難に直面している可能性のある生徒を特定するためのプロセスを持っており、そのような生徒をサポートするための多くのガイダンスを提供しています。

すべての中学校の生徒には、サポートチームがついています。このチームは、担任教師（HR）、社会的および感情的学習の教師（SEL)。アドバイザーのメンバーは、生徒を指導し、個別にサポートを提供します。詳細な時間割については、手引きの次の部分をご参照ください。

アドバイザー教師は、生徒支援部長および学校のリーダーシップチームと密接に協力して、すべての生徒が困難を乗り越え、成長するために必要なサポートを受けられるようにしています。保護者は、一般的な質問や学科に関係のない質問については、お子様の担任教師に連絡することができます。学科に関する具体的な問題については、該当する教師またはカリキュラムコーディネーターに直接連絡することをお勧めします。

中生徒は、スクールカウンセラーと話し合うこともできます。これらの会話は厳密に秘密が守られますが、生徒の安全に関する懸念がある場合を除きます。子どもの保護に関する問題がある場合、問題は子ども保護チーム、学校のリーダーシップ、および必要に応じて外部機関によって処理されます。

学習支援

生徒が学習に大きな障害を抱えている場合、私たちは追加の学習サポートを提供することがあります（有料の場合があります）。学習の困難の程度に応じて、私たちはクラス内サポート、クラス外サポート、個別サポート、または少人数グループのサポートを提供し、これらは生徒が学習の困難を克服するために必要なスキルと強みを育成することを目的としています。

HISは、社会的、学習的、行動的、感情的な障害に関連する特定の学習ニーズを持つ生徒をサポートすることができます。ただし、現時点での施設では、階段を昇降する際の身体的サポートを必要とする生徒の受け入れはできません。

支援プログラムは、各生徒に個別に設計され、教師からの観察、フィードバック、評価（学校内および必要に応じて外部教育専門家からの評価）に基づいて構築されます。この情報は、学校が個別教育プログラム（IEP）または生徒支援計画（SSP）を作成するために役立ちます。これらの計画は、保護者、生徒、学校内の担当チームと協力して作成され、必要に応じて外部専門家の意見を取り入れることがあります。このプログラムでは、生徒は1対1でサポートを受け、学年を通じて進捗が厳密に追跡されます。

もしサポートチームが、生徒が個別の学習サポートのためのフルタイムのチューターや外部のカウンセラーのレポートを必要とすることを確認した場合、家族はその費用を負担することになります。家族は、学習サポートを提供するチューターに直接支払い、またHISを通じてそのようなチューターを探し、雇うことができます。学校は外部スタッフの雇用を支援し、外部のカウンセリングレポートの評価や、実施中の外部支援に関するガイダンスを提供します。

いかなる場合でも、学校が教育心理学者のレポートを必要とする場合、家族は学校の指定された期間内にそのレポートを提出する必要があります。このレポートが提出されない場合、生徒は学校に通い続けることができません。

言語支援

HISでは、すべての生徒が自分の言語ニーズに合わせた環境で学び、成長できるように、2つの異なる言語コースを提供しています。「言語と文学」は母国語または準母国語の生徒を対象としたコースであり、「言語学」はまだ言語を学んでいる生徒や基礎的なスキルを発展させている生徒のためのコースです。言語習得プログラムの生徒は6つの段階に分けられ、各学期の終わりにスキルが評価され、生徒は適切であれば次の段階や「言語と文学」のコースに進級します。

6〜8年生では、英語の段階1〜2の生徒には追加の英語レッスンが提供されます。これらの活動は、生徒の全体的な学習に最小限の影響を与えるように調整されます。これらのレッスンでは、生徒は英語教師と共に言語の基盤を築き、すべての科目のカリキュラムでさらに多くの内容にアクセスできるようにします。HISの入学ポリシーに従い、9年生以上に入学する生徒は、通常、高い言語能力が求められます。例外がある場合、言語サポート部門の責任者とMYPコーディネーターは、生徒の家族と連携し、言語発展計画を作成し、進捗を追跡するための重要なマイルストーンを定めます。

6年生から10年生までの英語プログラムのすべての生徒は、毎年WIDAテストを受けて、自分の進歩と成長を追跡します。9年生以上の生徒は、各コースでの学習進度が定期的に監視され、HIS卒業証書を取得するための要件を満たす方向で進んでいるかを確認します

テーマ活動時間:

MYP中学プログラムでは、テーマ活動の時間が次のように組み込まれています：出席確認時間（毎日10分）、社会・感情教育と奉仕（毎週1回の授業).

登録時間:

毎朝登校時に、生徒は担任教師に報告しなければなりません。生徒は次の週や日程について通知を受け、関心事、質問、または祝いたいイベントについて意見を述べる機会を得ます。

社会・感情教育と奉仕:

毎週、感情社会教育とコミュニティ活動に特化した授業があります。社会・感情教育プログラムはSecond Stepプログラムに基づいており、その目的は以下の通りです：

- 学校での積極的な関係構築、共感的なコミュニケーション、そして深い帰属感を育むこと。
- 感情の認識と管理、回復力を持って挑戦に立ち向かい、成長マインドセットを発展させること。
- 自分の強みを理解し、自己認識を深め、意味のある個人および学習目標を設定すること。
- 感謝の気持ちを育む活動を通じて心の健康を保ち、感情のバランスを取り、インクルーシブで思いやりのある学校コミュニティを構築すること。

学校は、コミュニティに参加し奉仕するという思想を重要視しています。コミュニティ活動（SA）はMYPプログラムの必須項目であり、創造、活動、奉仕（CAS）はDPプログラムの必須項目であり、どちらもHIS卒業証書を取得するために完了する必要があります。6年生から10年生の生徒は、学年間を通してさまざまなコミュニティ活動（SA）を体験し、以下のことを行います：

- キャンプウィークでのコミュニティ活動を完了すること。
- 国連の持続可能な開発目標に基づいたSEL授業の中で計画されたグループ奉仕プロジェクト。
- 7年生から10年生には最低1回の個別奉仕活動が義務づけられ、6年生は選択制となります。

社会・感情教育と奉仕の授業では、生徒がこれらの要件を意味ある方法で実施するための指導が行われます。

2.4キャリア教育および大学進学ガイダンス

生徒が中等部に進学する際、学習の進路が卒業後の生活の希望に沿ったものであることが重要です。HISは、生徒一人ひとりが意味のある目標を設定し、その目標に向かって体系的に努力できるようサポートすることを約束します。

キャリア教育および大学進学ガイダンスは、9年生から始まり、卒業まで続きます。進路設計のプロセスを通じて、生徒は自分の興味や強み、夢について調べ、選択科目や課外活動がどのように長期的な目標に役立つかを考えるよう奨励されます。

大学およびキャリアアドバイザーは、MYPおよびDPコーディネーター、各教科の教師、そして保護者と密接に連携し、生徒が賢明な決定を下す手助けをします。これには以下が含まれます：

- 生徒が進学後の希望に合ったコース選択をサポートすること;
- 大学に進学するための競争力のある学業・個人の履歴書作成の手助け;
- 世界中の多様な進学先の選択肢に関する情報提供（大学システム、入学条件、奨学金の機会など）;
- 大学入学申請の過程を通じて直接的なガイダンスを提供すること。

保護者は、お子様の未来に関する具体的な質問や選択肢について話し合いたい場合、大学アドバイザー（メール：atrisnadi@hisvietnam.com）に直接連絡することを奨励されています。

2.5内部試験および外部試験

12年生のための模擬試験は、学期2の初めに実施されます。11年生の最終試験は5月に行われます。生徒は正式な授業を免除され、調査試験や模擬試験がある時のみ学校に出席します。

12年生の最終IB卒業試験は4月と5月に実施されます。

その他の正式な試験は行われません。6年生から10年生の生徒に対しては、通常の授業時間内で評価が行われます。

2.6賞

学習者像賞

IB学習者像賞の各資質に対して、各学期の終わりに賞が授与されます。各資質に対して、6〜8年生と9〜12年生にそれぞれ2つの賞が授与されます。

学業成績賞

11〜12年生の学業成績を認識するために、各学期の終わりに成績報告書に基づいて学業の優秀さに対して証書が授与されます。賞は次のように授与されます：

賞名	**必要な平均点**
優秀な学業成績	40-42
優れた学業成績	36-39

コミュニティのために活動賞

内部賞

各学期の終わりに、クラスごとに学校内外でのコミュニティサービス活動において模範的な生徒が表彰されます。

ECIS 異文化理解賞

ECISの会員校であるHISは、毎年1人の生徒を異文化理解賞に推薦する権利を持っています。この賞は、以下の基準を満たす生徒に授与されます：

- 文化的認識と共感へのコミットメント
- 異文化交流におけるリーダーシップ能力
- ポジティブで持続的な影響力

DPコア賞

DPコア賞は、12年生の終了時に、DPプログラムの3つの科目、すなわち「認識論」「創造性、活動、奉仕」「拡張論文」における優れた成果を称えるために授与されます。この賞を受賞するには、推薦された生徒は常に以下を示す必要があります：

- 優れた努力
- 優れた自己管理能力と時間厳守
- 創造的で独自性のある考え方

スポーツ賞

MRISAシーズンの終了後、各チームに対して最も進歩したアスリートと最優秀選手に賞が授与されます。また、HISを代表して、スポーツディレクターは中等教育と高等教育部門の男女最優秀アスリート賞を学期末に授与します。

最優秀成績認定証について

HISでは、毎年、成績最優秀者認定証を授与しています。この認定は、12年生の第2学期における、6つの公式履修科目およびTOK知の理論の成績に基づいて決定されます。この認定を受けた学生の氏名は公式には公表されませんが、大学出願時の書類として使用できるよう、学生本人には認定証が授与されます。12年生の第2学期において最高成績を収めた学生が複数いる場合は、該当するすべての学生に認定証を授与します。この方針は、学校が学生の順位を公表することを避けながら、同時に大学出願の過程において学生が不利益を被ることがないようにすることを目的としています。

2.7生徒の健康

HISには、校内に保健室があり、ベトナム人看護師2名が常勤しています。看護師は、授業中に発生した軽い病気やけがに対応します。より深刻な医療上の緊急事態が発生した場合には、学校が病院での治療を手配し、速やかに保護者に連絡します。

本校は、緊急時に無料で救急車サービスを提供する医療機関であるFamily Medical Practiceと提携しています。ただし、本校の保険では、Family Medical PracticeやRaffles Medicalなど、診療費が高額なインターナショナルクリニックでの診察・治療費は補償対象外となります。これらの医療機関の利用を希望される場合は、保険の手配および診療・治療にかかる費用は、保護者の皆様のご負担となります。

お子様の安全を確保するために、慢性的な病状、アレルギー、または持病などがある場合は、必ず学校にご連絡ください。必要に応じて、緊急時の対応方法を記載した医師の診断書もご提出ください。学校に持参するすべての薬には、明確な使用説明書を添付してください。また、重大な健康問題や感染症が発生した場合には、速やかに学校にご連絡いただくようお願いいたします。

発熱した生徒は、少なくとも24時間熱が下がってから登校するようにしてください。学校で発熱が確認された場合は、下校となり、翌日は自宅で休養しなければなりません。

2.8体育と健康教育

体育および健康教育（PHE）は、6年生から10年生まで教えられ、IB中等部プログラムにおいて評価対象科目となっています。

もし生徒が病気や怪我によりPHEの授業に参加できない場合、保護者または後見人は授業開始前にPHEの教師に直接メールで連絡する必要があります。もし生徒が連続して2回以上授業を免除される必要がある場合、医師の確認を受けた医療証明書を提出する必要があります。すべての医療情報（メールおよび証明書を含む）は学校の保健室に転送され、適切な監視と追跡が行われるようにします。

もし生徒が体育の授業の直前に体調が優れない場合、その生徒は学校の保健室に移され、適切な評価が行われます。もし生徒が授業に参加できないと判断された場合、保健室はその生徒の健康状態を監視し、保護者に連絡を取ります。なお、通常、学校に来られる体調の生徒は、その日の全ての活動（体育の授業を含む）に参加することが求められます。明確な医療相談がない限り、例外は認められません。水泳授業に学生が参加する場合にも、同様の手続きが適用されます。

水泳授業に必要な用具を持参していない場合、学生には規則遵守に関する注意書が渡され、用意がある場合には学校から代替の用具を貸し出すことがあります。学生がこれらの授業に参加できない場合、学期末の学習評価レポートにおいて、「未達成」または「評価対象外」と判断される可能性があります。また、中期的または長期的に継続する健康上の理由により授業へ参加できず、医療機関による診断書を提出している場合は、学校が保護者の皆様と積極的に相談し、適切な評価方法について合意を図ります。

課外活動では多様なスポーツ活動が行われており、HISはMRISAの積極的なメンバーです。すべての生徒は、体育の授業以外の時間に行われるスポーツ活動に積極的に参加することが奨励されています。

2.9 ハウス制度

HIS に入学すると、すべての生徒は教師によって次の 4 つのハウスのいずれかに割り当てられます：トカゲ（緑）、水牛（黄）、ドラゴン（赤）、フェニックス（紫）。ハウスシ制度は学校生活の重要な側面であり、コミュニティ意識、協力精神、そして学年を超えた強い絆を育む役割を果たします。

競技会、イベント、そして定期的なハウス間の記念日を通じて、生徒は自分のハウスに貢献し、学校の価値観を体現し、リーダーシップ、チームワーク、そして学校への誇りを育む機会を得ま

す。ハウスシステムは、私たちの包括的な文化の重要な部分であり、すべての教職員と生徒が参加します。

生徒は入学時に自分のハウスに対応したTシャツを支給されます。このTシャツは、学校が特別なイベントを開催する際に着用する必要があります。学校から事前に通知があります。

2.10課外活動プログラム（CCP)

課外活動プログラム（CCP）は、学校コミュニティの重要な一部であり、学業以外の学校生活や社会の広い側面に参加し、リスクを受け入れながら、生徒が生活のバランスを維持する手助けをすることを目的としています。活動は、季節ごとに変わり、担当するスタッフや生徒の興味やスキル、生徒自身の関心、そして保護者のボランティア参加に応じて提供されます。生徒は、CCPに参加することで、学習体験を向上させ、友人を作ることを積極的に奨励されています。生徒には、スポーツ、奉仕活動、芸術、文化活動のバランスを取ることを勧められています。

学年には、生徒が参加を選択できる3つのCCP学期があります。これらの活動は通常午後3時以降に行われますが、他の時間（例：授業前や昼食時間中）に行われることもあります。CCPの活動は通常無料ですが、必要な学用品や活動に関連するイベント、またはCCPの指導のために教師を雇う場合には、費用がかかることがあります。

課外活動プログラムに加えて、HISでは放課後楽器プログラム（ASI）も提供しており、生徒はキーボード、ギター、バイオリンなどの楽器を学ぶことができます。これらのレッスンは、学校の音楽教師または外部の講師によって指導され、正規の授業時間外に実施されます。このプログラムは有料となります。

課外活動に参加しない生徒は、放課後に学校に残ることはできません。学校には監視員がいないためです。生徒は午後3時までに学校を出る必要があります。学校のバスまたは個人の交通手段で帰宅することになります。午後4時の学校のバスは、CCP活動やMRISAトレーニングに参加している生徒のみが利用できます。CCP活動やASIプログラムについての詳細は、私たちのCCPコーディネーター（ccp@hisvietnam.com.）にお問い合わせください。

2.11 見学旅行

見学旅行は、生徒の教育体験において重要な部分を占めており、教室内で行われる授業を補完し、生徒が自分の知識や理解を実際の世界に直接適用する機会を提供します。また、社会的スキルを発展させ、ベトナムの国や文化について学ぶ機会でもあります。見学旅行はカリキュラムの重要な一部であり、生徒はこれらの旅行に参加することが期待されています。

見学旅行は通常、担当教員または担任教師が企画・実施し、授業の質を向上させるために構成されます。これらの旅行のいくつかは、生徒のコースや内部評価に直接関連しており、学校の課題の重要な部分を構成します。特にDP（ディプロマプログラム）の生徒にとっては重要です。教師は旅行前にリスクアセスメントを行い、すべての生徒の安全と健康を確保します。その後、この評価は中等学校の校長によって慎重に確認・承認されます。旅行に関して質問や懸念がある場合は、担当教師にご連絡ください。選択制の見学旅行には実費がかかります。見学旅行に参加するすべての生徒は適切な医療保険に加入する必要があります

11月には、中等部のすべての生徒がキャンプウィークに参加し、奉仕活動とチームワークを中心とした実地旅行に参加します。これは重要な学習の機会であり、クラスのグループ間の関係を築き、生徒が快適ゾーンから抜け出し、新しい体験に挑戦することを奨励します。

キャンプ活動は、学生の学習プログラムおよび教育的な体験の一環として欠かすことのできない重要な活動です。学校は、お子様をキャンプ活動に参加させるかどうかについての各ご家庭のご判断を尊重いたします。ただし、本活動は本校の正式な教育プログラムの一部であるため、HISでは、キャンプ活動に参加しない学生を対象とした学校内での代替授業の実施、学校内での学生の監督・見守り体制の提供、ならびにオンライン授業の提供は行っておりません。

健康上の理由により学生が欠席する場合は、保護者は医療機関が発行した証明書をご提出ください。また、お子様がキャンプ活動に参加するかどうかについて、出発日の1か月前までに学校へご連絡いただけない場合は、医療機関が発行した証明書が提出されている場合を除き、不参加に伴って発生した費用を学校へお支払いいただくことになります。キャンプ活動に参加せず、かつ医療機関が発行した証明書をご提出いただけない学生は、欠席として記録されます。

中等部のすべての旅においては、学校の行動規範に従う必要があります。保護者および生徒は、この規範について理解し、遵守することをお勧めします。

2.12 MRISA 及び HAC

メコン川国際学校協会（MRISA）は1999年に設立され、東南アジア地域（カンボジア、ラオス、タイ、ベトナム、マレーシア）から8校の国際学校が加盟しています。MRISAのメンバーとして、私たちは毎年、中学校・高校の生徒を対象に、スポーツ、文化、芸術の多彩な交流プログラムを提供しています。これは、生徒たちが地域内を旅行し、同年代の仲間たちと活動や競技に参加する機会であり、生徒の自信や自立心、国際的な視野を育むことにつながっています。

私たちは、HISでの在学期間中に、すべての中高生が少なくとも一度はMRISAのイベントに参加することを奨励しています。すべての中高生に対して、チーム活動に挑戦し、この非常に人気があり有意義な体験に参加することを特に推奨しています。

MRISAの活動には、バレーボール、バスケットボール、サッカー、そして芸術交流が含まれます。MRISAの授業は指定された日に週に2〜3回行われ、チームに選ばれた生徒は授業への参加が必須です。MRISAに参加するすべての生徒は、参加を確認し規則を遵守するために行動規範に署名しなければなりません。

MRISAチームへの参加は学業成績と良好な行動に基づいており、生徒はスポーツディレクターおよび中学校校長の判断でチームから除外されることがあります。MRISAの活動に参加する際は、出発前にすべての教師の署名をもらい、指定された期間内に完了すべき課題の概要を提出しなければなりません。

MRISAの活動準備のために、チームはHACスポーツ大会にも参加します。HACの試合はハノイ地域の生徒を対象としたスポーツシーズン中、毎週行われます。HACの試合は通常午後4時以降に終了し、その後スクールバスで生徒を学校に戻します。MRISA/HACに参加する生徒の保護者は、コーチやスポーツディレクターが指定する時間に子どもたちが学校に戻った際に必ずお迎えに来るようにしてください。

2.13宿題と学習約束

HISは、生徒がますます自立し、自分の学習の進歩に責任を持つよう育成することを約束します。宿題はこの過程において重要な役割を果たしており、授業で学んだ知識の定着を助け、振り返りを促し、主要な概念や技能をしっかり理解するのに役立ちます。

私たちは、すべての生徒ができる限り良い形で宿題を完成させ、期限内に提出することを期待しています。教科担当の先生は、ManageBacを使用してすべての課題や大きな宿題を提出期限の少なくとも一週間前に登録します。これにより、生徒は効果的に計画を立て、教科ごとに時間を管理することができます。

MYPの生徒は、学習計画ノート（MYPプランナー）とManageBacへのアクセス権を受け取り、宿題や評価の提出期限、その他の約束事項を記録します。担任教師やクラスの教師は、これらのツールを定期的に確認し、生徒が良い整理習慣を身につけるのをサポートします。保護者や後見人も、ManageBacや学習計画を定期的に確認し、家庭で積極的に支援することが推奨されています。

11年生と12年生の生徒は、自分の時間管理と学業の負担に対して完全な責任を負います。教師や保護者は指導することができますが、ディプロマプログラムの生徒は、デジタルまたは紙ベースのいずれであっても、自分自身のシステムを構築・維持し、提出期限や学習課題を管理することが期待されています。彼らは引き続きManageBacを利用し、教科担当教師やアドバイザーからのサポートを受けます。

ご家庭は、宿題に関心を持ち、定期的に宿題を行う習慣づくりを支援し、生徒を励ますことで、生徒の学習進歩をサポートできます。しかし、すべての宿題は生徒自身が行うことが重要です。家庭教師や保護者、その他の人が代わりに行った宿題は、自主学習の目的を損なうことになります。

教科担当の先生は宿題の提出状況を管理し、必要に応じて生徒に連絡を取る責任があります。困難が生じた場合は、教科担当の先生はカリキュラムコーディネーターと協力して、その問題が複数の教科にわたるより大きな困難を反映しているかどうかを確認します。

2.14 図書館

図書館は学校の重要な一部であり、学習と探究を支援する多様な書籍や資料を提供しています。生徒は毎週、本を借りて読書や調べ学習を行うことが奨励されています。図書館では、授業内外の読書を補うための貴重な英語参考資料を豊富に取り揃えており、休み時間や放課後には静かな学習スペースとしても利用されています。また、本校では多言語コミュニティの言語も大切にしており、様々な言語の書籍の収蔵も年々増やしています。ジャンルごとに整理された蔵書と定期的に更新されるコレクションにより、生徒たちは自分の興味や読解レベルに合った本を見つけることができます。生徒は一度に最大3冊まで本を借りることができます。また、保護者の皆様もご家庭でお子様と一緒に読書を楽しんでいただくために、本を借りることが可能です。

7年生から9年生までの学生は、毎週図書館での授業を受けます。これらの授業では、読書の時間を設けるとともに、リサーチスキルを身につけ、人工知能（AI）を含むテクノロジーを効果的に活用する方法を学びます。

2.15食堂

保護者の方は、お子様にお弁当を持たせることも、Joma　が運営する学校の食堂で昼食を注文することも可能です。生徒は、昼食を食堂外の棚や冷蔵庫に保管することができ、休み時間中は職員の見守りのもと保管されます。また、生徒が使用できる電子レンジが2台設置されています。昼食の注文および支払いは、Joma　アプリを通じて行われ、本校の事務局からの案内に従って操作します。生徒は飲み物を持参することができ、一日を通して清潔な水を利用できます。また、軽食を持参するか、Joma　のクレジットカードを使って食堂で購入することも可能です。ご質問がある場合は、以下のJoma本部オフィス（hisfoodservices@joma.biz）までご連絡ください。

2.16送迎手段

HISは、ハノイ市内に在住するすべての児童を対象にスクールバスサービスを提供しています。バスの利用は、送迎担当ディレクター（transportation@hisvietnam.com）　を通じて手配され、以下の時間帯で運行されます：

1. 登校バス：午前7時30分
2. 下校バス：午後3時00分
3. 放課後下校バス：午後4時00分

学年の開始前に、事務局がすべてのご家庭に連絡を取り、送迎のニーズを確認し、適切なサービスを手配いたします。

2.17緊急時対応手順

ロックダウン指示 / 火災警報 / 避難手順はそれぞれの場所に掲示されています。教職員と生徒が手順を確実に理解できるよう、定期的に緊急避難訓練を実施しています。

保護者はHISの登録用紙に緊急連絡先を必ず記入しなければなりません。特に、第一および第二の保護者を慎重に選択してください。両親が不在の場合に生徒が学校で迎えがいない状況を避けるため、異なる二名の保護者を指定することが必要です。選ばれた保護者は、保護者と連絡が取れない緊急時に学校が連絡を取る相手となります。

電話番号や緊急連絡先に変更があった場合は、必ず学校に速やかに報告してください。

第3章：生徒に対する期待

3.1 授業日

生徒は7時30分から登校できます。登校後は直接教室に向かい、7時45分に担任の教室で出席確認を受ける必要があります。一日の概要は以下の通りです。

時間	授業/活動	間隔
07:45 - 07:55	午前の活動	10 分
08:00 - 08:55	1時間目	55分
09:00 - 09:55	2時間目	55分
09:55 - 10:15	午前の休憩	20分
10:20 - 11:15	3時間目	55分
11:20 - 12:15	4時間目	55分
12:15 - 13:00	昼休み	45分
13:05 - 14:00	5時間目	55分
14:05 - 15:00	6時間目	55分
15:05 - 16:00	課外活動プログラム（CCP）およびMRISA練習	55 - 115分

3.2 学年度

学年度は、約180日間の正式な授業日を基に構成されており、これに教職員の専門能力向上のための研修日が加わります。本校は、国慶節やテト（旧正月）を含む、ベトナムの伝統的および国の祝日に休校します。各学期には1回、昼食後に下校する「早帰り日」が設けられており、この時間は教員の会議、計画立案、専門的な協働のために活用されます。

学校の正式な時間割は学校のウェブサイトに掲載されており、中学校で行われるすべてのイベントが含まれています。保護者の皆様には、これらのスケジュールを定期的に確認していただくよう推奨しており、関連するイベントや活動への積極的な参加を心より歓迎しています。

3.3出席

学生は、すべての正課授業およびホームルーム活動を含め、年間授業日の90％以上出席することが求められます。これは、学生がHIS卒業証書を取得し、本校を卒業するための必須条件です。出席確認は、毎日ホームルームの時間およびすべての授業時間に実施されます。学生が授業日の途中で学校を離れる必要がある場合は、保護者は事前に学校事務室へ許可申請を提出してください。

学生は、時間割に従い、すべての授業およびホームルーム活動に出席することが求められます。学生が欠席する場合は、保護者の皆様より学校事務室へメールでご連絡いただき、欠席理由および欠席期間をお知らせください。学校が事前の連絡を受けていない場合は、学生の安全確認のため、学校から保護者の皆様へ確認のご連絡を差し上げます。

3.4生徒が校内を離れること

11年生と12年生の生徒は、保護者が学年初めに配布された「昼食時の外出許可証」に署名している場合に限り、昼休みに校内を離れることが許可されています。生徒は外出時と帰校時に必ず署名しなければなりません。生徒は配達物の受け取りやデリバリーサービスでの注文は禁止されています。

11年生と12年生の昼休み時間以外は、保護者が事務室を通じて手配した場合や中等部長の許可がない限り、生徒は校内を離れることはできません。無断で校内を離れることは重大な規律違反と見なされます。

3.5遅刻

授業日のすべての時間帯において、時間厳守は非常に重要です。7時45分以降に登校した生徒は、必ず事務室に報告してください。出席記録は遅刻を反映するように更新されます。頻繁に遅刻する場合は、保護者に通知され、対応措置が取られます。通学手段に関する問題がある場合は、学校長または中等部長に連絡してサポートを受けてください。

3.6 服装

学校では、体育の授業を除いて制服の着用義務はありません。しかし、学校環境は厳粛な場であるため、生徒はベトナムの気候や文化を考慮した適切な服装を求められます。また、健康や安全面から、アクセサリー、髪型、靴についても注意が必要です。

本校の服装規定は、学生の快適性、スポーツ活動における実用性、ならびに地域文化への敬意を表すことのバランスを考慮して定められています。以下のガイドラインは、学生が遵守すべき服装に関する要件を明確にするものです。

- 外履き用のショートパンツは、立った状態で裾の長さが10cm以上、または少なくとも太ももの中間程度の長さが必要です。
- ショートパンツは、Tシャツやスウェットシャツの下から見える長さで着用してください。

- 極端に短いスパッツやコンプレッションウェアは運動をサポートする目的で使用できますが、必ずゆったりとしたスポーツショートパンツ、スポーツパンツ、またはスカートなどの下に着用してください。
- レギンスやサイクルパンツは、透けない素材であり、長さが太ももの中間程度まである場合に限り、主な服装として着用することが認められます。
- 学生は、自然で控えめなナチュラルメイクのみ認められます。

化粧品を学校へ持参することは禁止されています。規定に違反した場合、化粧品を一時的に預かることがあります。

体育・保健（PE）の授業における制服の規定	
通常の体育の授業	体育（PHE）の授業に安全かつ快適に参加するため、学生は適切なスポーツウェアを着用する必要があります。ジーンズ、カーゴパンツ、デニム素材のパンツ、または通常のファッションシューズを着用している場合、学生は体育（PHE）の授業に参加することはできません。 ● 体育の授業における服装規定: ● シャツ：学校指定の制服。以下のいずれかを選択してください。 ● - MRISAシャツ ● - HIS体育制服シャツ ● -チームシャツ（ドラゴン、フェニックス、バッファロー、ゲッコー） ● ズボン：上記の規定を満たす運動用ショートパンツまたはスウェットパンツ／運動用ズボン。 ● 靴: しっかりと紐またはストラップで固定できる、履き心地の良い運動靴（スニーカーまたはランニングシューズ）。 ● 屋外活動中は帽子の着用を推奨します。 ● 体育の授業中は、アクセサリー類の着用は禁止です。
水泳の体育の授業	● 生徒は規定の水着を着用しなければならず、Tシャツや普通のショートパンツの着用は禁止です。 ● 男子: 水着を着用し、必要に応じて首元まで覆う日焼け防止シャツまたはラッシュガード（水泳帽やファスナーなしのもの）を着ることができます。 ● 女子: ワンピースの水着または（任意で）水着用ショーツを着用し、必要に応じて首元まで覆う日焼け防止シャツまたはラッシュガード（水泳帽やファスナーなしのもの）を着ることができます。 ● ゴーグルの使用を推奨し、水泳帽の着用は任意です。 ● 規定に違反した服装の場合、水泳の授業に参加できません。 ● 宗教上の理由で必要な場合、生徒は腕、脚、頭を覆う服を着用しても構いません。ただし、それらの服は水中での体育活動専用にデザインされていることが条件です。

学年開始時、学生には、学校で着用する服装および体育制服を準備するための2週間の準備期間が設けられます。3週目以降は、服装規定が厳格に適用されます。規定された服装または体育制

服を正しく着用していない学生は、学校から一時的な貸出用の服装を使用することになります。または、学校よりご家庭へ連絡し、適切な服装を学生に届けていただくようお願いする場合があります。
HISの教職員は、学生の尊厳を尊重し、公平かつ客観的な姿勢でこれらの規定を適用します。服装に関する注意や修正のお願いが必要な場合は、学生が恥ずかしい思いをしたり、学習に影響が出たりすることのないよう、個別に配慮しながら対応いたします。

3.7学習用具

生徒は、毎日授業に必要な準備を整えて学校に来ることが求められます。各教科の教師は、学年を通して具体的な教材に関する要求を通知しますが、すべての生徒は次の学用品を持参して新学年を開始することをお勧めします：

- 英語の辞書。英語補助クラスを受講している生徒は、二言語対応の紙の辞書を持参することを推奨します。これはDPの試験で使用することが許可される場合があります。
- 数学の授業に適した電卓。以下の表を参照して、必要な電卓のモデルの詳細をご確認ください。

6-8年生:	Casio fx-570VN PLUS
9-12年生:	TI-Nspire CX II CAS

また、すべての生徒は、すべての授業で以下の学用品を持参することをお勧めします：

- HBの鉛筆
- 青または黒のボールペン
- 定規
- 鉛筆削り
- のり
- ハイライトペン
- 色鉛筆またはマーカーペン
- ハサミ
- 各教科ごとのファイルまたは多ポケットファイル
- ノート（学校のショップで購入可能)
- 横罫線のA4用紙
- 電卓（上記の要求を参照)
- ポストイットメモ
- ペンケースまたは筆箱
- 水筒

3.8 デバイスの使用

情報通信技術（ICT）は、HISでの教育と学習において重要な役割を果たし、生徒がコミュニケーションを取り、協力し、創造性を発揮し、学びに主体的に関与することを可能にします。ICTは、IB生徒記録と学習プログラムと意図的に統合されており、教育、学習、評価の質を向上させるために活用されています。

個人用デバイス

このポリシーの目的において、「デバイス」とは、ノートパソコン、タブレット、スマートフォン、ヘッドフォン、個人用音楽プレーヤー、ゲーム機など、すべての電子機器を指します。

- 生徒は、学習時間中（すべての授業、休憩時間、昼食時間を含む）に個人の携帯電話を使用することを許可されていません。携帯電話は常に生徒のカバンに収納する必要があります。
- 携帯電話が見つかった場合（使用しているかどうかに関係なく）、それは中学校長またはその補佐によって没収されます。生徒は、学校長または補佐からその日の終わりに携帯電話を返却してもらうことができます。
- ヘッドフォンまたはワイヤレスイヤフォンは、特定の学習活動に必要な場合のみ使用でき、教師からの明確な許可を得る必要があります。生徒は、授業の間、廊下、休憩時間、昼食時間中にイヤフォンを着用することはできません。ただし、監督付きの活動に参加している場合は除きます。

保護者の皆様へのお願い

私たちは、学校の学習環境をサポートするために、メッセージを生徒に送る必要がある場合は、電話、ソーシャルメディア、その他のデジタルチャネルを通じてではなく、学校のオフィスに連絡するようお願い申し上げます。皆様のメッセージは、迅速に生徒に届けられます。

個人用デバイス持参」プログラム（BYOD)

6年生から10年生までの生徒は、学習のためにノートパソコンまたはキーボード付きタブレットを持参することが義務付けられています。もし生徒が一時的にデバイスを持参できない場合は、担任教師に報告してください。教師は、情報技術室から一時的にデバイスを貸し出す手配をサポートします。

すべての生徒は、学校の「デジタル市民契約書」に署名し、責任を持って、敬意を持ってデバイスを使用するための要件を理解します。この契約書には、生徒が以下のことを遵守することが規定されています：

- 学習目的のためにのみデバイスを使用すること。
- 学校のネットワークの帯域幅を妨害しないこと。
- 学校のデジタル行動に関する基本契約に従うこと。

これらの要件に従わない場合、生徒はデバイスの使用権を失い、学校の行動ポリシーに基づいて処罰を受けることがあります。

生徒のデバイス使用に関する要約

デバイスの種類	使用時期	使用目的
ノートパソコン/タブレット	必須（6〜10年生）	授業と監督付きの活動中のみ使用可
携帯電話	一日中使用禁止（授業時間、休み時間、昼食時間を含む）	常にバッグやロッカーに収納し、使用の有無にかかわらず、外に置いておいたり使用したりしてはいけません。
貸出デバイス（IT室から）	必要に応じて一時的に使用	生徒がノートパソコンやタブレットを持参できない場合は、必ず担任教師を通して連絡してください。
ヘッドフォン	：学習目的で使用する場合は許可されます	教師の許可がある活動（例：言語学習、ビデオ編集）でのみ使用してください。休憩時間や授業間の移動中は、明確な許可がない限り使用しないでください。
すべてのデバイスの使用は、学校のデジタル市民契約に従う必要があります。		

3.9生徒の行動規範

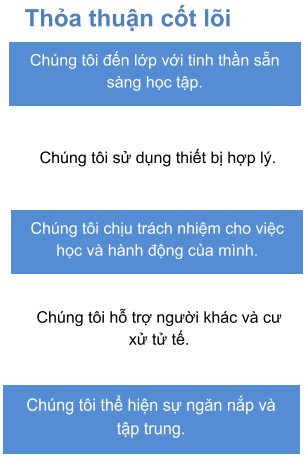
HISでは、コミュニティ精神が学校が生徒の積極的な行動を校内外で支援するための重要な価値観となっています。学校は多様性を重視し、積極的な修復的実践（restorative practices）を採用しています。これは、生徒が自分の行動に責任を持ち、問題が起きたときにその結果を改善し、解決策を見つけるための思いやりのある関係を築くことを意味します。

本校は、積極的な行動を認め励ますことが、互いに尊重し支え合う学習環境づくりに貢献すると信じています。生徒は尊重され、安全で愛情あふれる環境で学ぶ権利があり、その一方で、思いやりを持ち、他者の成果を尊重し、コミュニティに積極的に貢献することが期待されています。

軽度の問題行動は教師が対応し記録しますが、より重大な問題や再発の場合は、校長および生徒支援チームが連携して検討します。これらのチームは協力して、すべての生徒にとって安全で包括的かつ積極的な学校環境を維持・支援しています。

以下のガイドラインは、すべての人が協力して尊重・安全・支援のある学習環境を築くための指針です。ここでは、生徒の積極的な行動を促進するために、生徒・教員・保護者それぞれに対する明確な期待をまとめています

グループ	*期待*
生徒	● 学校コミュニティのすべてのメンバーに対して礼儀正しく責任を持った行動をすること ● 公平に他者を尊重すること ● 学校や他人の所有物を大切に扱うこと ● 文化の多様性を尊重すること ● 新入生を歓迎し、年下の生徒に気を配ること

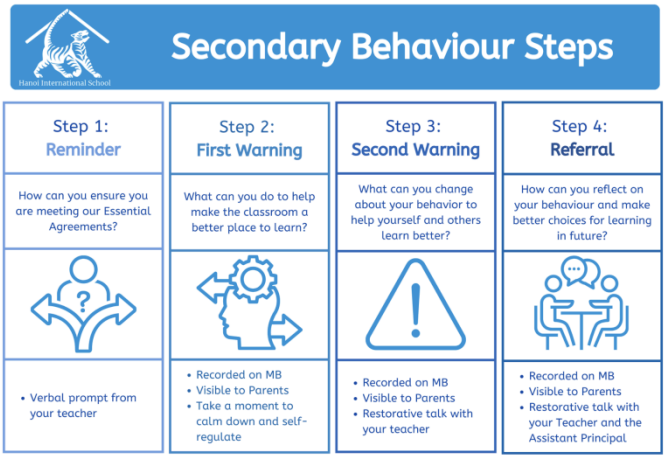
	• 正直かつ公平であること • 宿題を期限内に提出すること • 友達の学ぶ権利と先生の教える権利を尊重すること • 先生の指示や学校の方針に従うこと • 適切な服装と靴を着用すること • すべての学習成果において誠実であり、知的財産権を尊重すること • クラスの約束を守ること  各クラスには、生徒に行動基準を思い出させるための基本的な「基本合意」書が用意されています。 これらの合意は、教師と生徒との協力を通じて、各教科の特性に合わせてさらに発展または調整されることがあります。
教師	• 生徒の学習、社会性、感情面の発達に責任を持つこと • 行動管理において尊重し、支援し、一貫性と明確さを保つこと • 生徒の参加を得て、公平なルールと習慣を設定することが理想的である • 時間を守り、生徒にも時間厳守を求めること • 良い模範となり、プロフェッショナルな態度で接すること • 積極的な行動戦略（褒めること、交渉すること）を適用すること • 生徒の多様なニーズに応じた魅力的な授業計画を立てること • HISの行動管理手順に従って生徒の行動を調整すること（下記の表参照） • 罰則よりも行動改善に重点を置いた、公平な処置を行うこと • 授業中や校庭での規律問題を迅速に対応すること
保護者	• 学校の行動管理方針を支持すること • 学校とのオープンな連絡を維持すること • 行動問題の対応に招待された際には早期に参加すること

以下の表は、懸念すべき行動の例をレベル別に分類し、適用される可能性のある処置の形態を示しています。これらの例はあくまで参考であり、完全なリストや強制的なものではありません。学校は、状況や生徒のニーズに応じて、各ケースに適した対応策を検討し、復旧および積極的なサポートのアプローチを使用することをコミットしています。

レベル1: 低レベルの行動、頻繁には発生せず、個人的な責任感の欠如を示す行動	
レベル1の行動例:	**レベル1の行為に適用される処罰の形態:**

- 授業で合意された基本的なルールを守らない。
- クラスで小さな混乱を引き起こす（例：集中力を欠く、大声で話す、他の人を邪魔する）。
- 校内で不適切に移動する（例：廊下を走る、監督のないエリアに入る）。
- 不安全または不適切な遊びをする。
- 友達に対して無礼な言葉やジェスチャーを使う。
- 学校の服装規定を守らない。
- 正当な理由なしに授業に遅刻する。
- ゴミを捨てる、または学内の清潔を保たない。

レベル1の行為は通常、担任教師や監視しているスタッフによって処理されます。しかし、状況が急速にエスカレートした場合、学年のリーダーシップが介入することがあります。以下の行動処理の手順は、あくまでガイドラインです。



回復的な会話は、通常、具体的な修正措置を追加で合意する結果につながります。

レベル2：繰り返し行われる、またはそれ以上に深刻な行為で、他者に対して悪影響を与えるもの。

レベル2の行為の例:

- 注意やサポートを受けたにもかかわらず、レベル1の行為を繰り返す。
- スタッフからの合理的な指示に反抗する、または実行を拒否する。
- 学習環境を妨げ、他者に影響を与える。
- 不適切または侮辱的な言葉を使用する。
- 他者や他者について、尊重に欠けたり品位を低くするような話し方をする。
- からかいや孤立させる行為、または社会的な攻撃やいじめの兆候と見なされる行為。
- 学校のテクノロジー、デジタルプラットフォーム、または他の機器を不正に使用する。
- 学校の財産を破壊する、または故意に損傷を与える。
- 他者の持ち物や個人の財産に干渉する。
- 授業をサボる、長時間または頻繁に理由なく欠席する（例：トイレや保健室に長時間いる）。
- 学術的不正行為（例：盗作、試験での不正）。
- 不適切な身体的接触や公共の場での親密な態

レベル2の行為に適用される処罰の形態:

- 事案はManageBacシステムに記録されます。
- 生徒、学年リーダーのメンバー、および関係するスタッフが参加する会議を開催します。
- 生徒は指導付きの反省活動を行います。
- 生徒がストレスを軽減し、自己反省するために、一時的に活動や環境から離れる（「タイムアウト」）。
- 個別の行動管理計画や行動追跡ノートを作成します。
- 保護者と会議または電話で連絡し、状況を伝え、生徒に自身の行動が及ぼした悪影響を認識させます。
- 回復的な措置を適用し、生徒が責任を持って行動し、影響を受けた関係を修復することに焦点を当てます。
- 事案の重大性や繰り返し発生している状況に応じて、学生は学校内または家庭において、教育的指導および行動改善を目的として授業から

度を示す。 ● 嘘をつく、誤った情報を提供する、またはスタッフに情報を隠す。」	一時的に離れる措置が取られる場合があります。 ● 国際バカロレア（IB）ディプロマ・プログラム（DP）の学生については、昼食時間中に学校敷地外へ出ることができる権限を一時的または永久的に取り消す場合があります。 ● 保護者に通知を送信し、担任教師、プログラムコーディネーター、および学年主任にそのコピーを送付します。
レベル3：学校の期待に重大な違反があり、他者の安全、品位、または福祉に危害を及ぼす可能性がある行為。	
レベル3の行為の例: ● 学校からの生徒に対する期待について明確に説明されたにもかかわらず、レベル2の行為を繰り返す。 ● いじめ（他者に対して意図的に、長期間にわたる害を与える行為）。 ● ハラスメント（身体的、言葉によるもの、またはネット上でのものを含む）。 ● 自分自身、他者、または財産に対する暴力または脅迫行為。 ● タバコ、アルコール、薬物、またはそれらに関連する物品（vapeデバイスを含む）の所持、使用、または配布。 ● 喫煙、vapeの使用、または使用者と一緒にいること。 ● ポルノグラフィーの所持または配布。 ● 許可なく学校の敷地を離れる；頻繁な授業サボり。 ● 人種、性別、性的指向、またはその他の差別的な行動や言語の使用。 ● 武器、模造武器、または脅威や傷害を引き起こす物品の所持または使用。 ● 学校の評判に悪影響を与える行動。 ● 意図的かつ継続的に学校の規則を違反する。 ● ネットワーク攻撃や情報を偽造する技術的な悪用（ハッキング、フィッシングなど）。 ● 繰り返される、または重大な学術的不正行為。 ● 法律に違反する行為への関与。	**レベル3の行為に適用される処罰の形態:** ● 事案を直ちに中学校長に転送する。 ● 事案はManageBacシステムに記録されます。 ● 保護者に通知し、家族との会議を設定する。 ● 行動契約を作成し、適切であれば見直しと完了の期限を設ける。 ● 学校内または校外において、行動改善を目的としたリストアティブ・プラクティス（修復的対応）を実施する場合があります。 ● DPの学生については、昼食時間中の校外退出許可を一時的または永久的に取り消される場合があります。 ● 校内停学または校外停学。 ● 管理された環境で課題を完了する。 ● 外部の試験での学術的不正行為は、MYPまたはDPの賞を失う、またはHIS卒業証書が授与されない結果につながることがあります。 ● 破壊行為により財産に損害を与えた場合、損害賠償を行う。 ● 生徒の将来について、学校長を交えて検討する。 永久退学の可能性がある場合は、校長に報告されます。 ● 関連する教師は、ManageBacで事案の完全な記録を作成する必要があります。 ● 保護者に通知を送信し、担任教師、プログラムコーディネーター、学年主任、及び学校長にもそのコピーを送付します。

停学

前述のとおり、重大な問題行動、または学校の規則に継続的に違反する行為が認められた場合、中学校部の管理職は、1日から5授業日の期間、行動改善を目的とした隔離措置を適用することを決定する権限を有します。この期間中、学生は授業内容を継続して学習できるよう支援を受けるとともに、自身の行動およびその行動が自分自身や周囲の人々に与えた影響について振り返る機会を持ちます。また、より前向きで責任ある姿勢で教室へ復帰できるよう準備を行います。

行動改善を目的とした隔離措置は、以下の方法で実施される場合があります。

- **学校内で実施する場合**：学生は通常どおり登校しますが、他の学生とは分けられた別室で監督を受けます。その間、学生は学習課題に取り組み、自身の行動について振り返り、前向きな姿勢で教室へ復帰できるよう準備します。
- **家庭で実施する場合**：学生は家庭において学習課題に取り組み、自身の行動について振り返り、前向きな姿勢で教室へ復帰するための準備を行います。また、

この措置が実施されている期間中、学生は、いかなる学校行事にも参加することができず、また、いかなる形においても学校を代表する活動に参加することはできません。学生が参加できなくなった活動について、すでに支払われた費用は返金されません。

学生は、中学校部の管理職、学生本人および保護者または法定後見人による面談に参加した後、通常の活動および学習に復帰することができます。また、措置期間中に未実施となったすべての学習課題は、完全に完了しなければなりません。

退学に関する合意について

学生による特に重大な規則違反行為、または度重なる違反行為が認められた場合、学校はHISでの在籍継続を終了するよう求めることを検討する場合があります。この決定は、校長、中学校部校長、学生本人および保護者または法定後見人が参加する十分な評価および協議を行った上でのみ下されます。最終決定を行う前に、学校理事会にも意見を求めます。

3.10学術的な誠実

HISに入学する際、生徒とその家族は学術的な誠実に関する最高基準を遵守することを約束します。学習における誠実を違反する行為は厳格に処理され、重大な結果を招く可能性があります。特に外部評価が行われる科目での重大な違反の場合、生徒は国際バカロレア（IB）ディプロマまたはMYP証明書を取得できないことがあります。生徒はまた、HISの卒業資格を得られず、HIS卒業証書が授与されない場合があります。

学術的な誠実を示すために、生徒は以下のことを守る必要があります：

- 自分で行った課題を提出すること。
- 承認された引用方式（例：MLA）で参考文献を明記すること。
- 自分の言葉で内容を表現し、理解を示し、直接的なコピーを避けること。
- 他人の知的財産権をあらゆる形態で尊重すること（文章、画像、データ、創造的な製品など）。
- ギリギリの時間に課題を行うことを避けるために、計画的に作業を進めること。これによ

り、誠実さを欠く行動を防ぐことができます。
- 適切に協力し、有効な共同作業に関する指示を守ること。

学術的な違反行為の例:
学術的な違反には以下の行為が含まれますが、これに限りません:

盗作	他人の作品、アイデア、または文章を自分のものとして提示すること、意図的であれ無意識であれ。
共謀	生徒に自分の課題をコピーさせる、または他の生徒の不正行為を助けること。
不正行為	許可されていない資料やツール（例：翻訳ツール、人工知能）を使用したり、試験の内容を共有したりすること。
偽造	データや資料の偽造。
誤った提示	グループ課題で貢献が不均等であるにもかかわらず、全員が同じように貢献したかのように提示すること、または他人の作品を不適切に使用すること。

生徒の責任

生徒は以下のことが求められます：

- 学校の学術的な誠実に関する期待を学び、適用すること。
- 引用や参考文献の正しい記載方法について不明な点があれば、教師に質問すること。
- 友達から課題をコピーする提案を断ること。
- 真剣に学習習慣を身につけ、創造的で独立した思考を尊重すること。

教師の責任

教師は以下のことが求められます：

- 自分の科目で学術的な誠実を明確に教え、模範を示すこと。
- 各課題に対して具体的な指導を行い、個別作業と協力作業の違いについても指示すること。
- 生徒が誠実にフィードバックを受け取り、課題を修正する機会を作ること。
- 疑わしい違反事例を処理する際、IBおよび学校のポリシーを遵守すること。
- 高度な思考レベルを要求する学習課題を設計し、生徒が自分の意見を表現できるようにすること。

保護者の責任

保護者は以下のことが求められます：

- 学校の学術的な誠実に関する方針と期待を支持すること。
- お子さんが自立して課題を行うように励ますこと。

- お子さんが困難を感じている場合、直接課題に介入するのではなく、教師に連絡すること。
- 完璧な結果よりも、学習過程と努力が重要であることをお子さんに強調すること。

評価における学術的な誠実の違反

学習における誠実さの発展は、継続的な訓練のプロセスであり、生徒は学術的な倫理規範について理解を深める中で誤りを犯すことがあります。そのため、学校の内部手続きは主に指導的・教育的なものであり、生徒が学び、反省することを支援することに重点を置き、罰則ではなく成長を促進します。

内部評価の枠組みでは、学校は事案の性質と生徒の意図的な行動の程度を考慮して、適切な措置を取る柔軟性を持っています。しかし、外部試験機関からの評価に関しては、規定が厳格に適用されます。この場合、学校は公式な手順に従う必要があり、その結果、重大な影響を及ぼし、生徒の卒業資格に影響を与えることがあります。

意図的な行動の程度を特定することは複雑であるため、学術的な誠実違反の疑いがあるすべての事例は、利用可能な証拠に基づいて処理され、決定は公正かつ透明な原則に従い、関連する学習プログラムの規範に従って行われます。

内部評価

初回違反の場合
- 生徒、教師、および副校長またはプログラムコーディネーターとの会議が行われます。
- 保護者には副校長またはプログラムコーディネーターから書面で通知されます。
- 課題は新しい課題が提出されるまで、評価基準に基づいてN/A（評価不可）として採点されます。
- 生徒は指定された期限内に課題を再提出する必要があり、評価の性質に応じて監視下で行う場合があります。
- 違反はManageBacに記録されます。

二回目の違反の場合
- 生徒、保護者、副校長またはプログラムコーディネーター、そして中学校の校長との会議が行われます。
- 生徒は再発した場合、停学の可能性があることを正式に警告されます。
- 課題は新しい課題が提出されるまで、評価基準に基づいてN/A（評価不可）として採点されます。
- 生徒は指定された期限内に課題を再提出する必要があり、評価の性質に応じて監視下で行う場合があります。
- 違反はManageBacに記録されます。

三回目の違反の場合
- 生徒、保護者、そして中学校の校長との会議が行われます。
- 生徒は二回目の正式な警告を受け、停学処分となる可能性があり、その期間は校長が決定します。
- 違反はManageBacおよび生徒の正式な学習記録に記録されます。
- 行動に関する報告書が作成され、今後の期待事項が明記されます。
- 課題は新しい課題が提出されるまで、評価基準に基づいてN/A（評価不可）として採点さ

れます。

- 生徒は指定された期限内に課題を再提出する必要があり、評価の性質に応じて監視下で行う場合があります。
- 生徒は報告書に記載された条件に従わない場合、退学処分が提案される可能性があることを通知されます。

外部評価（IB MYPおよびDPプログラム）

外部機関によって評価される課題については、生徒は最初のドラフトと最終版の両方をManageBacシステムを通じて提出する必要があります。Turnitinソフトウェアや、必要に応じて他の専用のチェックツールが、ドラフトと最終提出の両方で学術的誠実性を確認するために使用され、ドラフトに対するフィードバックを提供し、最終提出物の評価を支援します。

生徒は各最終提出物に対して学術的誠実性の誓約書に署名する義務があります。教師もその課題が生徒自身のものであることを確認するために署名します。この二つの署名がない場合、その課題はIB組織に送信されません。

外部評価での学術的不正行為について

もし学術的不正行為が疑われる場合:

- 副校長/プログラムコーディネーターが調査を行い、その結果を中学校校長に報告します
- 不正行為が確認された場合、事案は学校長に通知され、生徒、保護者、プログラムコーディネーター、中学校校長が参加する会議が行われます;
- 学校はIBと協力し、IBからの関連するガイドラインに従います;
- 生徒は現在の試験でその科目に登録できない場合があります;
- 生徒の公式学習記録に注記が追加されます;
- 生徒はその科目の単位を失う可能性があり、HIS中学校卒業証書の取得条件や卒業の可能性に影響を与えることがあります。

IB試験において

外部試験での不正行為が疑われる場合:

- 生徒はIB組織の規定に従って、試験を終了することができます;
- 事案はIBの規定に従って報告されます;
- 学校はIBから指示された次の要求を完全に実行します;
- 生徒はIB資格または科目証明書の取得資格を取り消される可能性があります;
- 生徒は単位を失う可能性があり、HIS中学校卒業証書の取得条件や卒業の可能性に影響を与えることがあります;
- 事案は学校長に報告され、生徒の公式記録に記載されます。

いかなる場合でも、調査は慎重かつ公正に行われ、生徒はその過程において常に尊重されます。

詳細な情報はHISの学問的誠実性に関する方針（HIS Academic Integrity Policy）に記載されています。

3.11覚醒剤およびアルコール製品

アルコール、電子タバコ（Vape）、または違法薬物の所持、使用、配布は、学校敷地内および学校に関連するすべての活動において、場所を問わず絶対に禁止されています。

2025年1月1日より、ベトナム政府は電子タバコおよびVape機器の販売、輸入、使用を禁止しました。ベトナムで運営されている国際学校として、当校は国内法規および公衆衛生機関のガイドラインを厳守する責任があります。この規定に違反したり、禁止された物質を所持している生徒は、学校の行動規範に従って厳格な懲戒処分を受けることになります。

学校は、アルコールや処方されていない化学的覚醒剤、または娯楽用途の物質（例：麻薬や精神活性物質）の使用または所持を厳禁としています。この規則は、生徒の年齢や活動の場所に関わらず、学校に関連するすべての場面に適用されます。

学校は生徒の安全と福祉へのコミットメントに基づき、これらの期待を設定しています。上記の物質の使用は重大なリスクを伴い、HISコミュニティが目指す責任ある市民としての価値観にもそぐわないものです。

学校は定期的に、生徒に対して依存物質の健康への影響や法的結果について教育する場を設けており、保護者とも緊密に連携して、生徒が安全かつ責任を持った、知識に基づいた意思決定を行えるようサポートしています。

3.12ガム

校内ではいかなる時もガムを噛むことは禁止されています。この方針は、学校コミュニティのすべてのメンバーのために、清潔で敬意を持った学習環境を維持することを目的としています。生徒、スタッフ、訪問者の皆様には、この規則を守り、学校敷地内でガムを持参したり使用したりしないようお願い申し上げます。

3.13外部からの飲食物の注文

いかなる場合においても、生徒が学校に食べ物や飲み物を配達させることは許可されていません。

3.14生徒主催のイベント

生徒が主催するすべてのイベント（ダンスパーティーや社会活動など）は、必ず中学校の校長の事前承認を得る必要があります。学校は参加する生徒の人数に応じて適切な教師を監督者として配置し、HISの行動規範がこれらのイベントに対して完全に適用されます。

ゲストは事前に明確な許可を得ている場合にのみ参加することができます。保護者の皆様は、イベント終了後にお子様を適切かつ時間通りに迎えに来ていただくようお願い申し上げます。

3.15セキュリティ、ロッカー、および忘れ物

校コミュニティのすべてのメンバーの安全のために、生徒は学校に危険または有害と見なされる物品、素材、または化学物質を持ち込んではいけません。また、学校は生徒に対して、教師からの指示がない限り、特別なおもちゃや個人的な物品を持参しないようにお願いしています。

各生徒には鍵付きのロッカーが提供され、学年の初めに50,000VNDの保証金を支払います。この保証金は、学年の終了時に鍵を返却すると返金されます。生徒はロッカーを使用して、カバンや個人的な物品を保管し、次の授業に必要な資料だけを持参することができます。貴重品（例：携帯電話、タブレットなど）は、生徒が希望する場合、事務室または中学校の校長室に預けることができます。生徒は朝、休み時間、昼休みにロッカーを利用することができます。

失くした物品は「忘れ物箱」に保管されます。生徒は物品を紛失した場合、まずこの箱を確認すべきです。各学期の終わりには、受け取る人がいない物品が生徒が取り戻すために展示され、その後、慈善団体に寄付されます。

生徒は自分の個人財産に責任を持たなければなりません。可能であれば、学校に持参する物品には明確な名前ラベルを付けてください。学校は、個人財産の紛失または損傷について責任を負いません。

3.16バイクの安全運転

本校は、生徒のバイク使用に関するベトナムの法律を遵守しています。現行の規定に従い：

- バイクの運転者は18歳以上でなければならない;
- ベトナムまたは生徒の出身国で発行された有効な運転免許証を所持していること;
- バイクを運転する際は常にヘルメットを着用しなければならない。

学校はこれらの法律に違反する行為を許可せず、また支援もしません。そのため、学校は、生徒が規定に反してバイクを運転することや、有効な運転免許を持たない者や未成年者に運転される場合に関して、いかなる財務的または法的責任も負いません。

ご家庭におかれましては、未成年または無免許でのバイク使用が、医療、事故、または生命保険のポリシーを無効にする可能性があることをご理解ください。例えば、いくつかの国際的な保険会社（例：AETNA）は、その行為を故意の危険行為と見なすことがあり、保険の支払いを拒否する場合があります。

第4章：保護者と学校の連携

4.1保護者と学校間のコミュニケーション

保護者と学校との効果的なコミュニケーションは、お子様の学習支援と全人的な成長において非常に重要な役割を果たします。家庭と学校の強固な協力関係を維持するために、保護者の皆様には学年を通じて様々なチャネルを通じて情報が提供されます。

- **学期初めの保護者会（オープンハウス）**：学期の初めに、HISではオープンハウスを開催し、校長や担任教師が今後の学年に関する重要な情報を提供します。内容には、カリキュラムの概要、学校の活動、そして生徒が学び経験することの方向性が含まれます。
- **週刊ニュースレター**：毎週金曜日の午後、HISに通う全てのご家庭に学校全体のニュースレターがメールで配信されます。ニュースレターには校長や各学部長からのメッセージ、小学校および中学校のイベントや最新情報の更新が含まれます。
- **学年別月間ニュースレター**：毎月最終金曜日に、担任チームがSeesawプラットフォームを通じてニュースレターを送信します。内容は学習テーマの活動、英語、算数、体育、美術、音楽、ベトナム語、社会・感情スキルなどの専門科目に焦点を当てています。これにより、保護者は子どもの授業での学びの様子を把握できます。
- **保護者向けモーニングコーヒー**：学年を通じて、HISの管理職チームが保護者のためのモーニングコーヒーやワークショップを開催し、カリキュラム、子どもの発達、メンタルヘルス、IBプログラムについて学びます。質問をしたり、意見を共有したり、教師や他の家庭とつながるリラックスした場です。学校は、保護者全員の参加を奨励し、子どもの学びのサポートを継続することを推奨しています。
- **学習テーマの概要**：各学習テーマの開始時に、担任教師がSeesawを通じて保護者に概要を送ります。概要には、中心となるアイデア、探求のための問いかけ、重要な語彙、および生徒が探究するテーマのその他の重要な情報が含まれます。
- **Seesaw**：教師や学校の管理職は定期的にSeesawプラットフォームを使用して保護者と連絡を取ります。このツールにより、保護者はメッセージを受け取り、生徒の課題を確認し、子どもの学習過程をリアルタイムで直接サポートできます
- **学校のウェブサイト**：HISのウェブサイト（www.hisvietnam.com）では、保護者が常に最新情報を得て参加できるように、記事、ニュース、今後のイベントのスケジュールが定期的に更新されています。
- **SMSメッセージ**：急な休校、授業開始の遅れ、教員の研修日などの緊急連絡の場合、学校は保護者に迅速かつ確実に情報を伝えるため、タイムリーにSMSメッセージを送信します。

上記のすべての連絡手段は、保護者の皆様が常に十分な情報を得て、お子様の学習に積極的に参加できるようにするためのものです。

学校は、質問やご意見、ご関心がある場合には電話やメールでのご連絡を推奨しています。教師や学校の管理者は、児童の学習進捗や学校に関する問題について話し合うために、いつでも面談に応じます。
面談をより効果的かつ集中して行うために、事前に教師と予約を取っていただくようお願いいたします。

4.2 個人情報の変更

非常に重要なことは、お子様の学習に影響を及ぼす可能性のあるご家庭の状況に変更があった場合、速やかに学校にご連絡いただくことです。これには、住所や電話番号、緊急連絡先、その他関連情報の更新が含まれます。情報を迅速に更新していただくことで、学校は速やかに連絡を取り、生徒の安全と福祉を確保することができます。変更があった際は、速やかに事務局（メールアドレス：: mainoffice@hisvietnam.com）までご連絡ください。

4.3一般的な問題

保護者または保護者代行者と学校との明確なコミュニケーションは非常に重要です。ご質問、ご関心、ご提案がある場合は、電話またはメールで学校にご連絡ください。お子様の学習に関する問題については、まず担任教師またはPYPプログラムの副校長 / コーディネーターに相談することをお勧めします。全校的な問題や一般的な問題については、校長または小学校長に直接ご連絡いただけます。連絡先の詳細はこのハンドブックの冒頭に記載されています。

4.4保護者からの苦情手順

以下の手順は、すべての保護者・保護者代理人が公平かつ敬意をもって学校に対して苦情や懸念を伝えられるように設けられています。

すべての苦情は個人として行う必要があります。苦情や懸念がある場合は、まず関係教員と直接話し合ってください。問題が解決しない場合は、小学校校長に連絡してください。校長は苦情を記録し、初期の対応予定日時をお知らせします。

その後、小学校校長が事実関係を調査し、必要な対応について決定を下します。関係者全員にその対応が通知され、書面による報告書が全校校長に提出され、記録として保管されます。
もし小学校校長の対応に納得がいかない場合は、保護者は書面にて全校校長に苦情を申し立てることができます。

全校校長は、上記の手続きを適用して調査を行い、最終決定を下します。関係者全員に決定が通知され、書面による記録が保存されます。全校校長の決定が最終決定となります。

4.5保護者会（PTA)

HISでは、保護者の参加が非常に重要であると考えており、お子様の学習や学校活動に積極的に関わることを常に奨励しています。活発なPTA（保護者と教職員の会）は、資金調達や施設の改善支援、学校の環境整備に積極的に貢献する重要な役割を果たしています。

PTAは国際デーや夕方の交流会、スクールダンスパーティーなどの社会的なイベントを主催または支援しています。保護者、生徒、教員が一緒になってこれらの全校規模のイベントの準備を行います。PTAは通常、月に一度会議を開き、非公式のモーニングコーヒー会も開催しています。
また、韓国人保護者会など、コミュニティ内のいくつかの保護者グループが独自の交流フォーラムを持っています。

すべての保護者と教職員はPTAへの参加を心より歓迎します。参加をご希望の方は、以下のメールアドレスまでご連絡ください： pta@hisvietnam.com.

4.6校内への出入り

HISでは、オープンドアポリシーを採用しており、保護者の皆様の学校訪問をいつでも歓迎しています。入学手続き時に、すべての保護者にオレンジ色のIDストラップが配布され、学校に入る際の身分証明として使用されます。安全上の理由から、来訪者はすべて正門で登録し、身分証明書を提示し、校内では赤色の来客バッジを着用する必要があります

お子様が授業時間中に学校を離れる必要がある場合は、朝7時55分までに担任の先生と事務局（メールアドレス：mainoffice@hisvietnam.com）にメールでご連絡ください。生徒は必ず事務局にて退校手続きを行い、退校時にはセキュリティ担当に署名済みの許可証を提示しなければなりません。

学校に友達を招待したい生徒は、保護者または後見人からのメールで少なくとも1週間前に許可を申請する必要があります。許可は中学校の校長が承認します。卒業生が学校を訪問する場合も、他の来訪者と同様の手続きに従わなければなりません。

すべての保護者は、IDカードを受け取るために事務局に来る必要があります。また、来訪者は門の警備員に登録し、来訪者用のカードを受け取らなければなりません。この手続きは、学校が全員の安全を確保するとともに、皆様を親切かつ専門的にお迎えするためのものです。

参考文献

- Our Mission - International Baccalaureate®, IBO, www.ibo.org/about-the-ib/mission/. Accessed 21 May 2025

連絡先

4ベトナム、ハノイ、バディン、コンヴイ、リエウザイ通り、48 番

(84 24) 3832 8140 – 3832 7379

(84 24) 37624184

Mainoffice@hisvietnam.com

Admissions@hisvietnam.com